

「胃がんリスク検査」の申込を受け付けます

血液を採取し、ピロリ菌感染の有無と胃粘膜の萎縮度を調べ、将来胃がんになりやすいかどうかをリスク（危険度）別に判定する検査です。

検査結果により、保険診療でリスク別に応じた精密検査や治療を行うことで、胃がんの予防・早期発見につながります。＊胃がんかどうかを調べる検査ではありません。

- 対象者** 昭和16年4月1日生～平成13年3月31日生まれの方（年度内に20～79歳になる方）
市の助成を受けられるのは生涯に1回のみです。
以下の方は助成の対象になりません。
 - ・ピロリ菌検査を受けたことがある方
 - ・ピロリ菌の除菌をしたことがある方
 - ・胃痛など明らかな自覚症状がある方
 - ・現在、食道、胃、十二指腸の病気で治療中の方
 - ・胃酸を抑える薬（プロトンポンプ阻害薬）を2カ月以内に服用した方
 - ・胃を切除したことがある方（内視鏡的切除も含む）
 - ・明らかな腎不全、または腎透析を受けている方
 - ・市の助成を受けて検査したことのある方
 - 受診方法** 市が指定する医療機関（田村地方）で市が発行する受診券を持参し、受診してください。
 - 自己負担額** 1,000円
 - 申込方法** 検査を希望する方は、保健課へ電話で申し込みください。受診券と市指定医療機関一覧を送付します。
- ＊新型コロナウイルスの感染状況により、延期または中止する場合があります。

第29回/

ハチマルニイマル 歯っぴいライフ8020募集中!



8020（ハチマルニイマル）運動とは？

歯・口の健康は、食事や日常会話の楽しみなど、生活を営むうえで重要な役割を担っており、心身ともに健康な生活を送るための大切な要素となります。

そこで、福島県と福島県歯科医師会では「80歳で20本の歯を残そう」を生涯の健康目標とする8020運動の一環として、現在十分機能している歯を20本以上保持している80歳以上の方に認定証を交付します。20本以上ご自分の歯が残っている方は奮ってご応募ください。

なお、4年度から対象を「80歳以上の方」から「その年度に80歳になった方」に変更します。80歳以上の方は早めにご応募ください。

- 対象者**
 - ①福島県内に住民票があり、かつお住まいの方
 - ②昭和15年6月30日以前に生まれた80歳以上の方
 - ③十分に機能している自分の歯が20本以上ある方

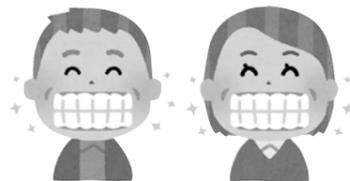
※すでに「歯っぴいライフ8020」認定証をお持ちの方は対象外です。
- 募集期間** 10月31日（土）まで
- 応募方法** 募集期間中に最寄りのかかりつけ歯科医院（福島県歯科医師会会員）に応募することを申し出て、歯と口の健診を受けてください。健診は無料です。
- 認定証の交付** 所定の要件を満たした応募者全員に「歯っぴいライフ8020」の認定証を交付します。
なお、認定証については福島県歯科医師会から本人に郵送します。（3年1月下旬予定）
- お問い合わせ** 福島県保健福祉部健康づくり推進課 ☎024-521-7640
福島県歯科医師会 ☎024-523-3266
最寄りのかかりつけ歯科医院

歯科医院で健診



応募

認定証交付



予防接種のおしらせ

さまざまな感染症が流行し、予防接種を受ける機会を逃してしまいます。体調をみながら暖かい時期を利用し、予防接種を済ませましょう。

子どもの予防接種

麻しん・風しん（MR）2期、ジフテリア・破傷風（DT）2期、日本脳炎2期の予防接種はお済みですか。ご確認のうえ、お早めに接種してください。

●対象者

- 麻しん・風しん（MR）2期
- ▶小学校就学前の1年間にある方
- ジフテリア・破傷風（DT）2期
- ▶11歳～13歳未満の方
- 日本脳炎2期
- ▶9歳～13歳未満の方（定期）、20歳未満の平成19年4月1日以前に生まれた方（特例）

●**費用** 接種期限まで個人負担なし。接種期限を過ぎると全額自己負担です。

●**持参物** ①予防診票②母子健康手帳③健康保険証

●**麻しん風しん（MR）2期対象の方へ**
麻しん・風しん予防接種を2回接種することで、99%以上の方が免疫を得られると言われています。まだお済みでない方は、早めに接種しましょう。



風しん抗体検査・第5期予防接種

風しんから自身と周りの人を守るために抗体検査・ワクチン接種をしましょう。

風しんは、感染者の飛沫（唾液のしぶき）を吸い込んで感染します。成人が感染すると、高熱、発疹の長期化や関節痛など重症化する可能性があります。電車や職場など人が集まる場所で多くの人に感染させる可能性があります。

また、妊娠初期の妊婦が感染すると、赤ちゃんが「先天性風しん症候群」になる可能性があります。

対象の方には、クーポン券を送付しています。まだお済みでない方は早めに検査を受けましょう。

●対象者

- 昭和37年4月2日～54年4月1日生まれの男性
- ※元年度対象の方は、お手元にあるクーポン券の期限を4年3月末まで延長しました。

●費用

個人負担なし。ただし、4年3月末が接種期限です。

●持参物

- ①クーポン券②予防接種を受ける方は抗体検査結果③健康保険証

7月は 愛の血液助け合い運動月間

病気の治療や手術に使われる輸血用の血液は、善意の献血によってまかなわれています。

血液は、人工的につくることも長期保存もできません。しかし、少子高齢化や若者の献血離れの影響により、将来、輸血などに必要な血液が足りなくなるおそれがあります。

献血で救える尊い命があります。皆さんのあたたかいご協力をお願いします。

●**献血日** 7月11日（土）

●会場および時間

- メガステージ田村
- ヨークベニマル側駐車場
- 午前10時～午後4時
- ＊新型コロナウイルス感染症対策として、検温や手指消毒、献血バスの常時換気などを行っています。

【400ml献血にご協力をお願いします】

輸血を受ける患者さんにとって、200ml献血と比べて、400ml献血の方が発熱などの副作用発生のリスクが大幅に減少します。

◆400ml献血採血基準◆

- 【年齢】 男性 17歳～64歳（※）
- 女性 18歳～64歳（※）
- ※60歳～64歳の間に献血経験のある方は、69歳までご協力いただくことができます。
- 【体重】 50kg以上

献血は「命」を
プレゼントできる
大きな贈り物です



食塩を制するものは、血圧を制す!

健診であなたの食塩摂取量をチェックしよう

塩（ナトリウム）は、生命維持に不可欠なものです。ただし、摂りすぎると高血圧の原因となり、脳卒中や心筋梗塞など命にかかわる病気のリスクが高まってしまいます。

そこで、2年度より、集団健康診査で尿中塩分測定検査を実施します。これまでの尿検査と同様の量から、推定食塩摂取量を算出します。

一日の食塩摂取量は、男性7.5g未満、女性6.5g未満、高血圧の方は6g未満が目標です。

この機会に集団健診を受診し、自分の食塩摂取量を確認してみましょう。

- 対象者** 市の集団健診で、特定健診または健康診査を受診する方
※尿中塩分測定検査のみの受診はできません
- 検査料** 無料
- 申込み** 市の集団健診を申し込んでいない方は、保健課へ申し込みください。